

横浜市立 小田小学校 学校評価報告書 (令和 4 ~ 6 年度)

重点取組分野	令和 4 年度		総括	重点取組分野	令和 5 年度		総括	重点取組分野	令和 6 年度		総括	
	具体的取組	自己評価結果			具体的取組	自己評価結果			具体的取組	自己評価結果		
生きてはたらく知	・「開かれた楽しい授業」に向け、重点研「テーマ」も独りししない学びを目指して定例授業改善を図る。重点では、各教科において、自分の考えや考え方の明確化に重点を置いていく。具体的な学習場面を設定し、共に学び合う中で課題解決に向かい、多角的な考えをもてるようにする。	・教科を国語に絞り、一人一人に様々な言葉の力が身につく授業づくりに研究し、テーマに沿って、子どもにとっての課題意識の高まりや考え方の明確化に重点を置いていく。具体的な学習場面を設定し、共に学び合う中で課題解決に向かい、多角的な考えをもてるようにする。	B	生きてはたらく知	・「開かれた楽しい授業」に向け、重点研「テーマ」も独りししない学びを目指して定例授業改善を図る。重点では、各教科において、自分の考えや考え方の明確化に重点を置いていく。具体的な学習場面を設定し、共に学び合う中で課題解決に向かい、多角的な考えをもてるようにする。	・教科を国語に絞り、一人一人に様々な言葉の力が身につく授業づくりに研究し、テーマに沿って、子どもにとっての課題意識の高まりや考え方の明確化に重点を置いていく。具体的な学習場面を設定し、共に学び合う中で課題解決に向かい、多角的な考えをもてるようにする。	B	生きてはたらく知	・「開かれた楽しい授業」に向け、重点研「テーマ」も独りししない学びを目指して定例授業改善を図る。重点では、各教科において、自分の考えや考え方の明確化に重点を置いていく。具体的な学習場面を設定し、共に学び合う中で課題解決に向かい、多角的な考えをもてるようにする。	・教科を国語に絞り、一人一人に様々な言葉の力が身につく授業づくりに研究し、テーマに沿って、子どもにとっての課題意識の高まりや考え方の明確化に重点を置いていく。具体的な学習場面を設定し、共に学び合う中で課題解決に向かい、多角的な考えをもてるようにする。	B	生きてはたらく知
豊かな心	・子どもの実態を大切に。道徳の授業や人権教育(人権週間を含む)を通じて、全学級道徳の授業に力を入れ、懇話会等でも日頃の様子や授業の様子について話題に出すようにする。	・道徳教育全体計画・学年ごとの年間指導計画をもとに、問題を自分と関わりてとらえた道徳科の授業を実施した。 ・人権週間に合わせて、人権講話づくりや外部機関と連携した授業を実施した。	B	豊かな心	・子どもの実態を大切に。道徳の授業や人権教育(人権週間を含む)を通じて、全学級道徳の授業に力を入れ、懇話会等でも日頃の様子や授業の様子について話題に出すようにする。	・道徳教育全体計画・学年ごとの年間指導計画をもとに、問題を自分と関わりてとらえた道徳科の授業を実施した。 ・人権週間に合わせて、人権講話づくりや外部機関と連携した授業を実施した。	B	豊かな心	・子どもの実態を大切に。道徳の授業や人権教育(人権週間を含む)を通じて、全学級道徳の授業に力を入れ、懇話会等でも日頃の様子や授業の様子について話題に出すようにする。	・道徳教育全体計画・学年ごとの年間指導計画をもとに、問題を自分と関わりてとらえた道徳科の授業を実施した。 ・人権週間に合わせて、人権講話づくりや外部機関と連携した授業を実施した。	B	豊かな心
健やかな体	・YICAのキャリアと統合性を図り、YICAの学習で学んだことを生かすことのできる年間計画を立て、計画的に交流を進める。 ・全校児童が姉妹校への相手意識を継続できるように、ぬいぐるみ交流や相手校の様子などを報告する機会を学年に応じて設定する。 ・全校児童がオーストラリアの児童とビデオを組み、行事などの折にメッセージ交換を行う。	・YICAのキャリアと統合性を図り、学んだことを生かすことのできる年間計画を立て、計画的に交流を進める。 ・入学以来の行事と交流を重ねることで、学年が上がるにつれて、オーストラリアの国や姉妹校ソルウェイク小学校への関心が高まり、交流が深まっている姿も見られた。 ・相手校との学年や学期の始まりが異なることや、低学年が手紙を書くことの困難さがあり、交流について再考が必要があった。	B	健やかな体	・YICAのキャリアと統合性を図り、学んだことを生かすことのできる年間計画を立て、計画的に交流を進める。 ・入学以来の行事と交流を重ねることで、学年が上がるにつれて、オーストラリアの国や姉妹校ソルウェイク小学校への関心が高まり、交流が深まっている姿も見られた。 ・相手校との学年や学期の始まりが異なることや、低学年が手紙を書くことの困難さがあり、交流について再考が必要があった。	・YICAのキャリアと統合性を図り、学んだことを生かすことのできる年間計画を立て、計画的に交流を進める。 ・入学以来の行事と交流を重ねることで、学年が上がるにつれて、オーストラリアの国や姉妹校ソルウェイク小学校への関心が高まり、交流が深まっている姿も見られた。 ・相手校との学年や学期の始まりが異なることや、低学年が手紙を書くことの困難さがあり、交流について再考が必要があった。	B	健やかな体	・YICAのキャリアと統合性を図り、学んだことを生かすことのできる年間計画を立て、計画的に交流を進める。 ・入学以来の行事と交流を重ねることで、学年が上がるにつれて、オーストラリアの国や姉妹校ソルウェイク小学校への関心が高まり、交流が深まっている姿も見られた。 ・相手校との学年や学期の始まりが異なることや、低学年が手紙を書くことの困難さがあり、交流について再考が必要があった。	・YICAのキャリアと統合性を図り、学んだことを生かすことのできる年間計画を立て、計画的に交流を進める。 ・入学以来の行事と交流を重ねることで、学年が上がるにつれて、オーストラリアの国や姉妹校ソルウェイク小学校への関心が高まり、交流が深まっている姿も見られた。 ・相手校との学年や学期の始まりが異なることや、低学年が手紙を書くことの困難さがあり、交流について再考が必要があった。	B	健やかな体
児童指導	・学習スタンダードを徹底し、学校全体で同じ方向を向いて指導・支援をし、定着を図るようとする。 ・生活目標を「あいづつしよう」覚えよう！特化し、すずんで取り組めるように意識を高めていく。 ・小さなことでも丁寧に対応していくために、報告・連絡・相談がいつでもできる学年研を中心とした、風通しのよい体制のもと、対応をすすめる。必要に応じて、専任・養護教諭を含めたチーム体制での取り組みを実施する。	・児童の実態に合わせてスタンダードの確認を行い、全校で同じ方向の指導ができるようにする。 ・児童会活動の「あいづつ活動」や非行防止サミットの提案を行い、積極的な取り組みを行った。 ・これまでに、学校全体でよく報告・連絡・相談ができていて、チームとしての児童指導を今後とも継続していきたい。	B	児童指導	・学習スタンダードを徹底し、学校全体で同じ方向を向いて指導・支援をし、定着を図るようとする。 ・生活目標を「あいづつしよう」覚えよう！特化し、すずんで取り組めるように意識を高めていく。 ・小さなことでも丁寧に対応していくために、報告・連絡・相談がいつでもできる学年研を中心とした、風通しのよい体制のもと、対応をすすめる。必要に応じて、専任・養護教諭を含めたチーム体制での取り組みを実施する。	・児童の実態に合わせてスタンダードの確認を行い、全校で同じ方向の指導ができるようにする。 ・児童会活動の「あいづつ活動」や非行防止サミットの提案を行い、積極的な取り組みを行った。 ・これまでに、学校全体でよく報告・連絡・相談ができていて、チームとしての児童指導を今後とも継続していきたい。	B	児童指導	・学習スタンダードを徹底し、学校全体で同じ方向を向いて指導・支援をし、定着を図るようとする。 ・生活目標を「あいづつしよう」覚えよう！特化し、すずんで取り組めるように意識を高めていく。 ・小さなことでも丁寧に対応していくために、報告・連絡・相談がいつでもできる学年研を中心とした、風通しのよい体制のもと、対応をすすめる。必要に応じて、専任・養護教諭を含めたチーム体制での取り組みを実施する。	・児童の実態に合わせてスタンダードの確認を行い、全校で同じ方向の指導ができるようにする。 ・児童会活動の「あいづつ活動」や非行防止サミットの提案を行い、積極的な取り組みを行った。 ・これまでに、学校全体でよく報告・連絡・相談ができていて、チームとしての児童指導を今後とも継続していきたい。	B	児童指導
地域連携	・学校支援活動について検討する協議会開催 ・地域等への普及啓発、広報活動 ・昨年度までの実績をもとにして学校支援ボランティア活動の作成と運用 ・学校支援活動の実施・学校支援活動・校内環境美化支援活動・図書館支援活動等の充実 ・年間計画とそ活動実績をまとめ、次年度以降利用できるようにする。	授業サポート、活動支援、花壇整備等を通して地域と協働した教育運営の推進が図られている。英語ポスター、読み聞かせ、放課後学習支援等により、児童の学習意欲を引き出している。支援者の見守りにより、児童の「安全な登校」と地域のとの接点の動行じになっている。	B	地域連携	・学校支援活動について検討する協議会開催 ・地域等への普及啓発、広報活動 ・昨年度までの実績をもとにして学校支援ボランティア活動の作成と運用 ・学校支援活動の実施・学校支援活動・校内環境美化支援活動・図書館支援活動等の充実 ・年間計画とそ活動実績をまとめ、次年度以降利用できるようにする。	授業サポート、活動支援、花壇整備等を通して地域と協働した教育運営の推進が図られている。英語ポスター、読み聞かせ、放課後学習支援等により、児童の学習意欲を引き出している。支援者の見守りにより、児童の「安全な登校」と地域のとの接点の動行じになっている。	B	地域連携	・学校支援活動について検討する協議会開催 ・地域等への普及啓発、広報活動 ・昨年度までの実績をもとにして学校支援ボランティア活動の作成と運用 ・学校支援活動の実施・学校支援活動・校内環境美化支援活動・図書館支援活動等の充実 ・年間計画とそ活動実績をまとめ、次年度以降利用できるようにする。	授業サポート、活動支援、花壇整備等を通して地域と協働した教育運営の推進が図られている。英語ポスター、読み聞かせ、放課後学習支援等により、児童の学習意欲を引き出している。支援者の見守りにより、児童の「安全な登校」と地域のとの接点の動行じになっている。	B	地域連携
特別支援	・個別支援学級の児童の交流級や交流学年と指導の連携を密にしているために日々報告・連絡・相談をしていく。 ・個別支援学級の環境整備を行い、ユニバーサルデザイン教育について理解し、実践していく。 ・引き続き、特別支援教室の充実を通して、すべての児童が安心して学習意欲の向上を目指しているようにする。	・個別級児童については毎日交流級担任と連絡を取り、児童の様子や課題を共有し、相談をしていく。保護者面談には交流級担任も参加し、相互理解を深め、実践していく。 ・個別支援学級の環境整備に引き続き取り組む。 ・特別支援教室を適度で実施し、入り込みや取り出しの形態で本人にあった指導を行っている。	B	特別支援	・個別支援学級の児童の交流級や交流学年と指導の連携を密にしているために日々報告・連絡・相談をしていく。 ・個別支援学級の環境整備を行い、ユニバーサルデザイン教育について理解し、実践していく。 ・引き続き、特別支援教室の充実を通して、すべての児童が安心して学習意欲の向上を目指しているようにする。	・個別級児童については毎日交流級担任と連絡を取り、児童の様子や課題を共有し、相談をしていく。保護者面談には交流級担任も参加し、相互理解を深め、実践していく。 ・個別支援学級の環境整備に引き続き取り組む。 ・特別支援教室を適度で実施し、入り込みや取り出しの形態で本人にあった指導を行っている。	B	特別支援	・個別支援学級の児童の交流級や交流学年と指導の連携を密にしているために日々報告・連絡・相談をしていく。 ・個別支援学級の環境整備を行い、ユニバーサルデザイン教育について理解し、実践していく。 ・引き続き、特別支援教室の充実を通して、すべての児童が安心して学習意欲の向上を目指しているようにする。	・個別級児童については毎日交流級担任と連絡を取り、児童の様子や課題を共有し、相談をしていく。保護者面談には交流級担任も参加し、相互理解を深め、実践していく。 ・個別支援学級の環境整備に引き続き取り組む。 ・特別支援教室を適度で実施し、入り込みや取り出しの形態で本人にあった指導を行っている。	B	特別支援
学校運営協議会	・小田中学校との小中合同学校運営協議会に仕組み、小中9年間の児童・生徒の成長を連携して支えていく地域の力としての運営協議会の土台を築く。 ・小中合同学校運営協議会の利点を生かし、よりコミュニケーションの力を高める小中合同の活動を行い、「9年間で育てる子ども像」を目指す。	・小田中学校との小中合同学校運営協議会に仕組み、小中9年間の児童・生徒の成長を連携して支えていく地域の力としての運営協議会の土台を築く。 ・小中合同学校運営協議会の利点を生かし、よりコミュニケーションの力を高める小中合同の活動を行い、「9年間で育てる子ども像」を目指す。	B	学校運営協議会	・小田中学校との小中合同学校運営協議会に仕組み、小中9年間の児童・生徒の成長を連携して支えていく地域の力としての運営協議会の土台を築く。 ・小中合同学校運営協議会の利点を生かし、よりコミュニケーションの力を高める小中合同の活動を行い、「9年間で育てる子ども像」を目指す。	・小田中学校との小中合同学校運営協議会に仕組み、小中9年間の児童・生徒の成長を連携して支えていく地域の力としての運営協議会の土台を築く。 ・小中合同学校運営協議会の利点を生かし、よりコミュニケーションの力を高める小中合同の活動を行い、「9年間で育てる子ども像」を目指す。	B	学校運営協議会	・小田中学校との小中合同学校運営協議会に仕組み、小中9年間の児童・生徒の成長を連携して支えていく地域の力としての運営協議会の土台を築く。 ・小中合同学校運営協議会の利点を生かし、よりコミュニケーションの力を高める小中合同の活動を行い、「9年間で育てる子ども像」を目指す。	・小田中学校との小中合同学校運営協議会に仕組み、小中9年間の児童・生徒の成長を連携して支えていく地域の力としての運営協議会の土台を築く。 ・小中合同学校運営協議会の利点を生かし、よりコミュニケーションの力を高める小中合同の活動を行い、「9年間で育てる子ども像」を目指す。	B	学校運営協議会
いじめへの対応	・1月1回いじめ防止対策委員会を実施し、全校で見守る姿勢を大切に、再発防止及び予防・開発に努める。 ・年2回の児童アンケートにより詳細な変化を見逃さない体制づくりを行うとともに、現状の把握に努める。 ・心配なことがあったら、即時に対応チームを作り、スピード感のある対応を進めていく。	・1月1回いじめ防止対策委員会ではいじめ認知案件や、未然防止のための子どもたちの様子にのびのびと関心することができた。 ・年2回の児童アンケートにより詳細な変化を見逃さない体制づくりを行うとともに、現状の把握に努める。 ・心配なことがあったら、即時に対応チームを作り、スピード感のある対応を進めていく。 ・年2回の学校生活アンケート・YPAアンケートを活用し、子どもたちのみとりに生かしている。	B	いじめへの対応	・1月1回いじめ防止対策委員会を実施し、全校で見守る姿勢を大切に、再発防止及び予防・開発に努める。 ・年2回の児童アンケートにより詳細な変化を見逃さない体制づくりを行うとともに、現状の把握に努める。 ・心配なことがあったら、即時に対応チームを作り、スピード感のある対応を進めていく。	・1月1回いじめ防止対策委員会ではいじめ認知案件や、未然防止のための子どもたちの様子にのびのびと関心することができた。 ・年2回の児童アンケートにより詳細な変化を見逃さない体制づくりを行うとともに、現状の把握に努める。 ・心配なことがあったら、即時に対応チームを作り、スピード感のある対応を進めていく。 ・年2回の学校生活アンケート・YPAアンケートを活用し、子どもたちのみとりに生かしている。	B	いじめへの対応	・1月1回いじめ防止対策委員会を実施し、全校で見守る姿勢を大切に、再発防止及び予防・開発に努める。 ・年2回の児童アンケートにより詳細な変化を見逃さない体制づくりを行うとともに、現状の把握に努める。 ・心配なことがあったら、即時に対応チームを作り、スピード感のある対応を進めていく。	・1月1回いじめ防止対策委員会ではいじめ認知案件や、未然防止のための子どもたちの様子にのびのびと関心することができた。 ・年2回の児童アンケートにより詳細な変化を見逃さない体制づくりを行うとともに、現状の把握に努める。 ・心配なことがあったら、即時に対応チームを作り、スピード感のある対応を進めていく。 ・年2回の学校生活アンケート・YPAアンケートを活用し、子どもたちのみとりに生かしている。	B	いじめへの対応
人材育成・組織運営(働き方)	・5年次以下の教職員を中心にメンターチームを組織し、月1回の活動を継続して行う。 ・学校経営会議(管理職、主幹教諭、学校運営部部長)を月1回1日、中長期的な学校運営及び働きやすい職場作りを推進する。 ・子どもと向き合う時間を確保するため、指示板の活用、朝会や打ち合わせの簡潔化、会議の精選を行う。	・メンターチームのリーダーを中心に、年間を通して計画的に運営することができた。メンバー全員が提案提案を行い、メンバーの需要に応じて十分にやり取りすることができた。 ・主幹教諭、打ち合わせ等の時間の確保が難しくなったため、打ち合わせや職員会議等、しっかりと情報共有ができるようにハード面の整備にも努めることができた。	B	人材育成・組織運営(働き方)	・5年次以下の教職員を中心にメンターチームを組織し、月1回の活動を継続して行う。 ・学校経営会議(管理職、主幹教諭、学校運営部部長)を月1回1日、中長期的な学校運営及び働きやすい職場作りを推進する。 ・子どもと向き合う時間を確保するため、指示板の活用、朝会や打ち合わせの簡潔化、会議の精選を行う。	・メンターチームのリーダーを中心に、年間を通して計画的に運営することができた。メンバー全員が提案提案を行い、メンバーの需要に応じて十分にやり取りすることができた。 ・主幹教諭、打ち合わせ等の時間の確保が難しくなったため、打ち合わせや職員会議等、しっかりと情報共有ができるようにハード面の整備にも努めることができた。	B	人材育成・組織運営(働き方)	・5年次以下の教職員を中心にメンターチームを組織し、月1回の活動を継続して行う。 ・学校経営会議(管理職、主幹教諭、学校運営部部長)を月1回1日、中長期的な学校運営及び働きやすい職場作りを推進する。 ・子どもと向き合う時間を確保するため、指示板の活用、朝会や打ち合わせの簡潔化、会議の精選を行う。	・メンターチームのリーダーを中心に、年間を通して計画的に運営することができた。メンバー全員が提案提案を行い、メンバーの需要に応じて十分にやり取りすることができた。 ・主幹教諭、打ち合わせ等の時間の確保が難しくなったため、打ち合わせや職員会議等、しっかりと情報共有ができるようにハード面の整備にも努めることができた。	B	人材育成・組織運営(働き方)
ブロック内評価後の気づき	・懸念拡大防止策に努めながら、研究授業を実施した。今年度は国語科を中心に研究に取り組み、テーマに沿った研究会の充実を図ることができた。 ・小中合同職員会議では、各教科・領域ごとに一貫カリキュラムの修正・検討をした。また、独自教科設立に向けて各学年ごとどのような内容で取り組んでいくか年度の取り組みを検討した。 ・YICAでは、中学校の英語教諭にT-Tとして入ってもいい、児童の様子や小学校での外国語授業を共通理解することができた。		B	ブロック内評価後の気づき	・懸念拡大防止策に努めながら、研究授業を実施した。今年度は国語科を中心に研究に取り組み、テーマに沿った研究会の充実を図ることができた。 ・小中合同職員会議では、各教科・領域ごとに一貫カリキュラムの修正・検討をした。また、独自教科設立に向けて各学年ごとどのような内容で取り組んでいくか年度の取り組みを検討した。 ・YICAでは、中学校の英語教諭にT-Tとして入ってもいい、児童の様子や小学校での外国語授業を共通理解することができた。		B	ブロック内評価後の気づき	・懸念拡大防止策に努めながら、研究授業を実施した。今年度は国語科を中心に研究に取り組み、テーマに沿った研究会の充実を図ることができた。 ・小中合同職員会議では、各教科・領域ごとに一貫カリキュラムの修正・検討をした。また、独自教科設立に向けて各学年ごとどのような内容で取り組んでいくか年度の取り組みを検討した。 ・YICAでは、中学校の英語教諭にT-Tとして入ってもいい、児童の様子や小学校での外国語授業を共通理解することができた。		B	ブロック内評価後の気づき
学校関係者評価	・運動会や授業などを参観して、子どもたちは楽しく安心して学校生活を送っている様子が見られている。児童アンケート結果からは、「国学年交流」や「学校のきまり」について、よい結果となっているのが良い点である。一方で、授業の中で自分の考えや思いを表現する力については、例年からの課題があるようである。今後この力を伸ばしていくようにしてほしい。 ・授業では、先生方が熱心に指導して児童が落ち着いてよく学習し成長している様子が見られている。一方で、改善点も見られたので今後の授業方向に努めてほしい。		B	学校関係者評価	・運動会や授業などを参観して、子どもたちは楽しく安心して学校生活を送っている様子が見られている。児童アンケート結果からは、「国学年交流」や「学校のきまり」について、よい結果となっているのが良い点である。一方で、授業の中で自分の考えや思いを表現する力については、例年からの課題があるようである。今後この力を伸ばしていくようにしてほしい。 ・授業では、先生方が熱心に指導して児童が落ち着いてよく学習し成長している様子が見られている。一方で、改善点も見られたので今後の授業方向に努めてほしい。		B	学校関係者評価	・運動会や授業などを参観して、子どもたちは楽しく安心して学校生活を送っている様子が見られている。児童アンケート結果からは、「国学年交流」や「学校のきまり」について、よい結果となっているのが良い点である。一方で、授業の中で自分の考えや思いを表現する力については、例年からの課題があるようである。今後この力を伸ばしていくようにしてほしい。 ・授業では、先生方が熱心に指導して児童が落ち着いてよく学習し成長している様子が見られている。一方で、改善点も見られたので今後の授業方向に努めてほしい。		B	学校関係者評価
中期取組目標振り返り	・昨年度に比べ、小中交流も徐々に進むようになり、言葉や運動会などの行事を通して一層児童間ではあるが交流が深ってきた。更に、併設型小中一貫校として、9年間を見すえた小中の教員の交流ができた。今後の推進への大きな布石となった。 ・新しい教育課程にふさわしい学びのための授業の改善を、国語科を中心に取組んだ。子ども同士の関わりから深める授業をめざし、子どもたちに学ぶ楽しさを実感させていくための教師のあり方を追求した。 ・本校の特色でもあったたわり活動では、制限のある中で工夫して取り組むことができ、次年度にもつながるように活動内容を考えることができた。		B	中期取組目標振り返り	・昨年度に比べ、小中交流も徐々に進むようになり、言葉や運動会などの行事を通して一層児童間ではあるが交流が深ってきた。更に、併設型小中一貫校として、9年間を見すえた小中の教員の交流ができた。今後の推進への大きな布石となった。 ・新しい教育課程にふさわしい学びのための授業の改善を、国語科を中心に取組んだ。子ども同士の関わりから深める授業をめざし、子どもたちに学ぶ楽しさを実感させていくための教師のあり方を追求した。 ・本校の特色でもあったたわり活動では、制限のある中で工夫して取り組むことができ、次年度にもつながるように活動内容を考えることができた。		B	中期取組目標振り返り	・昨年度に比べ、小中交流も徐々に進むようになり、言葉や運動会などの行事を通して一層児童間ではあるが交流が深ってきた。更に、併設型小中一貫校として、9年間を見すえた小中の教員の交流ができた。今後の推進への大きな布石となった。 ・新しい教育課程にふさわしい学びのための授業の改善を、国語科を中心に取組んだ。子ども同士の関わりから深める授業をめざし、子どもたちに学ぶ楽しさを実感させていくための教師のあり方を追求した。 ・本校の特色でもあったたわり活動では、制限のある中で工夫して取り組むことができ、次年度にもつながるように活動内容を考えることができた。		B	中期取組目標振り返り